

議会だより

2020年 2月 北海道中川郡豊頃町議会発行
議会広報特別委員会編集



12月定例会

第4回定例会は、12月11日から開会され、町長から提案のあった補正予算など18議案を、いずれも原案どおり可決し、18日に一般質問、選挙管理委員の選挙等を行って閉会しました。



会計名	補正額	総額
一般会計(第3号)	300万円	47億7933万円
一般会計(第4号)	100万円	47億8033万円
一般会計(第5号)	▲1000万円	47億7033万円
介護保険特別会計(第2号)	81万円	3億8388万円
医療施設特別会計(第1号)	30万円	1億1973万円
簡易水道特別会計(第2号)	683万円	3億942万円
公共下水道特別会計(第2号)	416万円	2億4032万円

◆豊頃中学校改築等工事
基本設計 **936万円**
豊頃中学校の建て替えに関する基本設計費用

◆定住促進等住宅取得補助 **289万円**
住宅の新築・中古住宅の購入者への補助金を対象件数の増加により追加補正

◆福島県相馬市への復興支援 **130万円**
台風19号により大きな被害を受けた姉妹都市福島県相馬市への義援金100万円と災害支援物資の送付(一般会計補正第4号・専決処分、補正第5号)

◆商工誘致施設管理業務 **300万円**
町が商工誘致施設として取得した旧スーパーアグリ店舗設備の撤去と廃棄物処理(一般会計補正第3号・専決処分)

補正予算の主なもの

◆社会福祉法人豊頃愛生協会支援事業 **1400万円**
町内で特別養護老人ホームなどの事業を展開する法人への補助。法人運営へ800万円、デイサービス事業へ300万円、ケアマネジメント事業へ300万円。

◆日本ハムファイターズ応援大使関係事業 **30万円**
プロ野球・北海道日本ハムファイターズの2020年応援大使対象市町村に決定したことから、PR関連グッズの作成などの費用

※表示の金額は、1万円未満を四捨五入しています。
※専決処分とは、議会を招集する時間的余裕がないときなど、議会にかわって町長が処分(決定)すること。

広報とよころ
▽12月定例会補正予算の主なもの
議会だより
役場だより

〔条例改正等〕

▼豊頃町職員の給与に関する条例の一部改正

国の人事院勧告に基づき、職員の給料表、住居手当、勤勉手当の支給率等を改正。

▼豊頃町職員の旅費に関する条例の一部改正

出張時の目的地市内の移動経費を定額支給にし、町内旅費の車賃の支給距離を短縮する改正。

▼豊頃町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

▼豊頃町特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正

町職員の給与条例の改正と同様に、議会議員及び特別職の期末手当の支給率を改正。また、町職員の旅費条例の改正と同様に、目的地市内の移動経費を定額支給にする改正。

▼豊頃町非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

町職員の旅費条例の改正と同様に、目的地市内の移動経費を定額支給にする改正。

▼豊頃町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定

地方公務員法及び地方自治法の改正に伴い、町の臨時・非常勤職員の任用、勤務条件に関する規定を制定。

▼豊頃町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

住民基本台帳法施行令等の改正に伴い、旧氏による印鑑登録ができることも、成年被後見人が印鑑登録できるようにする改正。

▼豊頃町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

消費税率の引き上げに伴い、し尿処理手数料の基本料金を1560円から1650円に、超過料金を1リットル5円20銭から5円50銭にする改正。

▼成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

法律の施行に伴い、「豊頃町職員」の分限についての手続及び効果に関する条例、「豊頃町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」中、関係条文

の改正。

一人 事 案 件

▼豊頃町固定資産評価審査委員会委員の選任

2月に任期満了となる熊野幸雄氏（茂岩栄町）を再任し、宝田明洋氏の後任に吉村和敏氏（北栄）を選任したいとの提案があり、これに同意しました。
なお、任期は令和5年2月までの3年間です。

〔選挙管理委員、補充員の選挙〕

令和元年12月23日に任期満了となる選挙管理委員と選挙管理委員補充員の選挙を行い、次の方が当選されました。

なお、任期は令和5年12月23日までの4年間です。

・選挙管理委員

津久井精一氏（再任） 礼作別

小野木英毅氏（再任） 豊頃

中村 哲蔵氏（新任） 大津寿町

半谷 徳辰氏（再任） 二宮

・選挙管理委員補充員

前田マリ子氏（再任） 豊頃旭町

前田 精一氏（再任） 二宮

山田 隆信氏（新任） 大津幸町

鈴木 茂氏（再任） 茂岩栄町

主な審議内容

補正予算

○石岡議員 日本ハムファイターズ応援大使招聘事業補助金について、事業概要は。

○A 令和2年1月から12月までの1年間、豊頃町の応援大使として各種イベントやPR活動を通じて本町の知名度を高めていただくもの。具体的な活動内容は、今後球団担当者や町内にある日本ハムファイターズ後援会などと協議する予定である。

○石岡議員 豊頃愛生協会運営補助金について、法人の現状と今後の見通しは。

○A 今年度の経営状況は、老人ホームへの入所者数が定員に満たないことから、約2400万円の赤字を見込んでいます。

高齢者の多い本町においてはななくてはならない施設であるので、今後、ある程度の財政支援はやむを得ないと考えています。

○岩波議員 福祉センター附属施設床等改修工事について、施設

広報とよころ

議会だより

役場だより



を使用する社会福祉協議会と改修内容の話し合いは十分行ったのか。
A 物置として使用している建物について、社会福祉協議会から改修の要望があり、協議しながら対応していきたい。



改修を行う福祉センター近くの物置

Q 穴崎議員 清掃費の旅費を追加補正しているが、事業概要は。
A 10年ほど前まで町内で中古車販売が行われていた土地に、放置されたドラム缶が相当数ある。その中にはオイル等が入っているとみられ、環境整備のため所有者に会って対応を相談するものである。

Q 石田議員 今年も秋サケが不漁の年となってしまった。今後の漁業支援助策の考えは。

A 厳しい状況であり、大変危惧しているところである。大津漁業協同組合や組合の構成町である浦幌町と協議しながら、支援を検討していきたいと考えている。

Q 穴崎議員 スーパーが再開していない状況だが、12月に販売が始まるプレミアム商品券事業の考えは。
A スーパー以外の店舗で利用することで商店街への効果は出るものと考えている。



年末に茂岩市街で行われた歳末販売会

Q 穴谷議員 豊頃中学校改築等工事基本設計業務について、これまでに関いた説明会の状況と、出された意見への対応は。

A 令和元年9月からこれまでに説明会を11回開催し、延べ113人に説明した。いただいた意見は、基本設計の中に反映させていきたいと考えている。

Q 穴谷議員 計画では、豊頃中学校を豊頃小学校に併設するとしているが、小中一貫教育の考えは。
A 現在は、小学校と中学校がそれぞれ独立した併設校を目指している。その後、将来的に小中一貫教育を目指すことについて協議する組織の立ち上げを考えている。

Q 穴崎議員 豊頃中学校改築事業についてパブリックコメントが行われているが、これまでの意見数と意見募集期間を延長した理由は。
A 当初、11月1日から1か月間、える夢館で意見を募集し、3件の意見をいただいた。その後、基本設計の開始まで時間的余裕があることから、募集期間を12月末日までに延長し、場所も大津支所を追加した。現在のところ、合計5件の意見をいただいている。

広報とよころ
 議会だより
 主な審議内容 ほか

役場だより

花咲かじいじ会が 議会傍聴

12月18日、ボランティアサークル「花咲かじいじ会」の会員10人が12月議会定例会を傍聴しました。

花咲かじいじ会では、12月に開かれる議会への傍聴を続けており、今回で3回目となりました。議会では一般質問が行われ、議員と町との白熱する議論の様子を傍聴されました。

この日の傍聴席は、そのほかにも多くの方が来られました。今後、議会では、多くの皆さんの傍聴をお待ちしております。



会員らが議会を傍聴



一般質問



岩井 明 議員

加齢性難聴者への補聴器導入助成は

Q 高齢になると難聴になる方が多くなる。難聴になると、家族や友人との会話が少なくなり外出の機会が減るため、厚生労働省は、高齢者の引きこもりの要因の一つに聴力の低下をあげてその対策を求めている。

補聴器は、難聴者の約14%しかつけていないとのデータがあり、その理由の一つは平均15万円する価格の高さである。補聴器購入に対する助成等の対策は。

A 宮口町長

障害者総合支援法に基づき、対象者には購入等に要する費用の一部を支給している。この制度は、高度難聴に該当する方が対象となり、中程度以下の方は対象外となる。

本町独自の補助は行っていない。

Q 補聴器の普及により、難聴の高齢者が生活の質を落とさず、健康寿命を延ばすことも期待できると考えるが。

A 宮口町長

道内においては、独自の助成制度を設けている自治体もある。

今後は、難聴の方の意向も聞きながら、前向きに検討していきたいと考えている。



児童生徒の携行品重量への配慮は

Q 文部科学省は、通学時のランドセルやカバンの重量が、児童生徒の発達に影響を及ぼしかねないため、各教育委員会に適切な配慮を求める通知を出しているが、本町の対応は。

A 山本教育長

文部科学省からの通知を受けて、各学校に通知を行っている。

各学校では、以前から利用頻度の少ない教材を教室の整理棚等に置いていたり、また夏休みなどの長期休業期間前には分割して持ち帰る、大きな教材は保護者に学校へ取りにきていただくよう連絡するなど、児童生徒に負担のかからないよう対策を講じている。

教育環境の改善と家庭・地域との連携は

Q 文部科学省は、コミュニケーションスクール制度を法制化した。本町の取り組みは。

A 山本教育長

本町は、今年4月からコミュニケーションスクール制度の取り組みを開始した。町全体で学校運営協議会を作り、学校ごとに部会を設置している。協議会は、校長から推薦された人を主に20人の委員で構成し、現在は来年度の活動計画の策定に向けて会議を行っている。



杉野 好行 議員

Q 総務文教常任委員会の所管事務調査において各学校を訪問した際、学校・家庭・地域を結びつける人材が必要との意見を伺った。学校は、やらなければならぬことが増えたため教員の仕事が煩雑になり、家庭訪問も以前に比べて行われていないような状況にあるため、学校・家庭・地域をつなげ

広報とよこる

議会だより

一般質問

役場だより

◎ **会議の詳細は会議録で** ◎

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録されています。

ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議会事務局へお問い合わせください。

また、議会だよりの感想もお待ちしております。

TEL 015-574-2222
FAX 015-574-3955
(議会事務局直通)



るための人材が必要と考えるが。

A 山本教育長

コミュニティスクールを導入している自治体では、コーディネーターを配置して事業展開を図っているところもあることから、学校運営協議会で審議いただきながら、必要となれば人員の配置について町長と協議していききたいと考えている。

A 宮口町長

教育は、教育現場の教職員、PTA、教育委員会が十分話し合いながら地域に応じた教育を進めるべきであり、地域の方は登下校時の安心・安全を見守る程度にとどめるべきではないかと考えている。

Q 本町の福祉施策では、高齢者宅を巡回して話を聞くなどする職員を配置している。学校教育においても同じように、学校・地域・家庭の悩み相談等への対応やそれらを結ぶ連絡調整役となる人材が必要と考えるが。

A 宮口町長

議員の意見も参考に、検討していきたい。

コミュニティスクールとは、学校運営を教職員だけでなく保護者や地域住民等と一体と

洪水対策を踏まえた豊頃中学校建て替えは

Q 豊頃中学校は、老朽化に伴い校舎建て替えの検討が進んでいる。建設予定場所は、洪水ハザードマップ上では十勝川氾濫時の洪水浸水地域となっている。学校のある中央区は、これまで洪水被害の歴史が続いてきたことから、洪水対策の観点から見た校舎建設



小笠原茂人 議員



豊頃小学校の授業風景

なっており、地域とともにある学校づくりを進める制度。

の考え方は。

A 宮口町長

豊頃中学校の校舎等は、豊頃小学校の敷地に建てる考えで進めている。

ハザードマップでは、洪水浸水地域となっているが、十勝川は、しっかりと堤防が整備されており安全安心である。また、水害はある程度時間が予測できるため、子どもたちを避難させる等の対応は可能と考えている。

Q 平成28年に起きた記録的大雨による避難した経験や、毎年国内で発生する自然災害を見ると、あの場所を文教ゾーンとしてよいものなのかと思う。抜本的に見直して再検討する考えはないか。

A 宮口町長

小・中学校の教育は、小中一貫教育を目指す方向で検討しており、校舎が別々の場所にあることは不便である。コミュニティスクール制度のように地域に見守られながら学校を運営するという考え方もある。

また、学校のある中央区は住宅地が広がっており、水害の発生する可能性があるから学校は建設できないということになれば、公営住宅等の建設もできないというこ

とになる。学校を高台に整備するにしても、建設可能な面積のある場所は見当たらない。

私は、あの場所に建設することが適切だと考えており、その上で水害対策についてさらに検討しながら、子どもたちや住民が安心して暮らせる地域づくりを進めていきたいと考えている。



豊頃中学校の建て替えが計画されている豊頃小学校グラウンド

第1回臨時会（1月17日）

▼令和元年度一般会計補正予算（第6号）

除雪費など、2591万円を追加し、予算総額を47億9624万円とする補正。原案のとおり可決。

委員会レポ①

1 調査の経過と結果
 (1)各学校の状況(10月1日現在)

①大津小学校

普通学級2(複式)の児童数6人、教職員数3人である。校舎は、昭和53年12月に完成し、建築後41年が経過している。最近5年間に於ける主な整備状況は、「体育館天井改修・屋根塗装改修・ステージ幕更新」、「消防用設備修繕」、「プールろ過器・排水設備改修」、「駐車場舗装改修」などを実施している。

②豊頃小学校

普通学級6、特別支援学級5の児童数111人、教職員数19人である。校舎は、平成3年3



大津小学校で学校の運営状況を調査

10月29日、総務文教常任委員会(小笠原茂人委員長)は、「町内小・中学校の教育環境の整備状況」について、教育環境の充実の観点から、各学校施設及び教育教材等の整備状況を調査しました。

月に完成し、建築後28年が経過している。最近5年間に於ける主な整備状況は、「図工準備室改修」、「加圧給水ポンプ交換」、「コンピュータ室改修」、「児童用トイレ改修」、「校舎内照明器具交換」などを実施している。

③豊頃中学校

普通学級3、特別支援学級3の生徒数64人、教職員数18人である。校舎は、昭和49年12月に完成し、建築後45年が経過している。最近5年間に於ける主な整備状況は、「体育館水飲み場設置」、「防風林造成」、「加圧給水ポンプ交換」、「校舎内照明器具交換」、「防火防災設備修繕」、「駐車場舗装改修」、「生徒用トイレ改修」、「校舎前側溝補修」などを実施している。

2 まとめ

本調査では、各学校が特色ある学校経営を展開し、教職員が苦勞しながら児童・生徒の教育活動を進めていることが確認でき、今後更なる教育の充実が期待される。学校施設及び教育教材等の整備では、教育委員会が各学校の状況



豊頃中学校の授業を視察

を聞き取り、年次ごとに必要な整備を進めると確認できた。委員からは、ICTを活用した教育活動のためパソコンやタブレットの整備が進む中、パソコンを設置する教室にエアコンの設置が必要ではないかとの意見が出された。

児童・生徒を取り巻く教育環境は、急激に変化している。そのため、更なる教育の充実には、学校施設の整備はもとより、教職員の研修機会の充実、学校と家庭や地域をつなぐ人材の配置など総合的な取り組みが重要である。

また、豊頃中学校改築等に関し現在進めているパブリックコメントについては、町民の意見を幅広く聞く体制とすべきなどの意見が出された。

※要約掲載

十勝町村議会議員研修会

とかちカラ未来へ

10月28日、足寄町民センターにおいて、十勝町村議会議員研修会が開催され、十勝管内の町村議会議員が参加しました。

研修会では、北海道十勝総合振興局長の三井真氏が「とかちカラ未来へ」と題した講演が行われました。

講演では、十勝総合振興局が進める「攻めの福祉」と「女性の流出対策」の事業を紹介しました。十勝の開拓者魂を忘れず自らの手で現実を切り拓くため行動し、新しい人材を育てる取り組みを学び、本町のまちづくりに参考となる機会となりました。



議員研修会講師の三井真氏

広報とよこら

議会だより

▽委員会レポ①ほか

役場だより



産業課からの概要説明

1 調査の経過と結果
 (1) 大津漁港整備の概要
 大津漁港は、昭和44年に第4種漁港に指定されたことから国直轄による整備が始まり、昭和54年に開港した。平成23年の東日本大震災に伴う津波等により、船揚場へ上架中の漁船横転や港外への漁船流出などの被害が発生したため、整備計画を変更して津波被害軽減対策を初めて計画に盛り込み、船揚場の嵩上げと上架施設の整備を進めた。平成29年には、平成30年から10年間を事業期間とする新計画を策定した。

直近の主な整備では、船揚場及び漁船保管用地の嵩上げ、南防波堤の改良整備並びに航路護岸の整備を実施している。来年度には荷捌所前面岸壁への屋根掛け事業の調査が開始される予定である。

(2) 今後の課題
 船揚場の嵩上げにおいて、盛土した土砂沈下の収束が遅れ進捗に影響が出ていることや、国直轄ではない単独事業として、船揚場北西側の町有地に整備予定の漁船修理施設用地への盛土に必要な土砂の確保やその財源が課題である。

(3) 町の水産業関連予算
 本町は、水産業振興のため、大津漁協の構成町である浦幌町とともに水産関連事業への補助を行っている。主な事業は、さけ増殖事業補助、種苗中間育成事業補助、船揚場整備に合わせ船台の強化更新を行う大津漁港漁船減災対策事業補助等である。また、平成29年から続く漁獲不振に伴い、本年度の緊急事業として秋サケ資源増大活動支援事業補助を実施した。

2 まとめ
 大津漁港は、開港から40年が経過した。開港後も計画に基づき整備が進められ、東日本大震災によ

委員会レポート②
 11月20日、産業厚生常任委員会(坂口尚示委員長)は、「大津漁港の整備状況等」について、大津漁港整備の概要と今後の課題、町の水産業関連予算等を調査しました。



現地視察した大津漁港船揚場と漁船上架施設

る津波被害以降は防災・減災対策に取り組み、漁港施設の強靱化が図られている。また、課題としては、遅れている船揚場の嵩上げ整備の促進や、単独事業として整備する漁船修理施設の盛土などの用地整備とその財源の確保などが必要であることが分かった。

大津漁港の整備は、国が整備計画を決定し直轄で整備を進めているが、早期整備の実現に向け、町には今後も要請活動等の、より積極的な関わりを期待したい。また、平成29年から漁獲量の落ち込みが続いている中、漁業者の生活安定や安心して出漁できる環境整備のため、どのような施策が必要か引き続き研究すべきではないかなどの意見が出された。 ※要約掲載

◎今後の予定

11月	2日	東京豊頃会	〓 東京都
	2日	全国議長大会	〓 東京都
	13日	議員全員協議会	
	29日	産業厚生常任委員会	
		十勝圏複合事務組合等議定会定例会	〓 帯広市
12月	6日	議会運営委員会	
	11日	第4回定例会(1日目)	
		(補正予算、条例改正、その他)	
		議員全員協議会	
		総務文教常任委員会	
		産業厚生常任委員会	
	18日	第4回定例会(2日目)	
		(一般質問、その他)	
		議員全員協議会	
		議会広報特別委員会	
1月	15日	議会広報特別委員会	
	17日	第1回臨時会(補正予算)	
	21日	総務文教常任委員会	
		議会広報特別委員会	
2月	6日	産業厚生常任委員会	
	21日	十勝町村議会議長会定例会	〓 帯広市
		議員全員協議会	
		十勝圏複合事務組合等議定会定例会	〓 帯広市
3月	5日	議会運営委員会	
	10日	第1回定例会(1日目)	
		(補正予算、その他)	
	13日	第1回定例会(2日目)	
		(令和2年度当初予算)	
	17日	第1回定例会(3日目)	
		(一般質問ほか)	

※日程は変更になる場合があります。

議会日誌

広報とよころ
 委員会レポート② 議会だより
 役場だより